

# 第 53 回琉球放送旗争奪沖縄県中学校新人バレーボール大会

## 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

沖縄県バレーボール協会中学部

参加者の健康と安全を最優先にするために、以下のガイドラインに基づき大会を行う。大会期間は、各会場においては感染拡大防止に努め、全ての参加者に健康チェックシートの提出を求める。

### 1 3密を回避するために

- (1) 大会会場(体育館内)への入館は、登録選手 12 名、監督、コーチ、マネージャー、大会関係者(引率責任者・管理職・審判員・役員を含む)のみとし、無観客試合を基本とする。ただし、敷地内への入場は、入館できるメンバー以外の生徒または保護者を合わせて6名までとし、その6名は当該チームの試合の際は、体育館内への入館を認める。また6名は敷地外での入れ替えを認める。  
※6名のうち2名以上は救護役員として保護者とする。
- (2) 体育館外(窓など)から試合を観戦することは禁止する。
- (3) 開館後に行っていた2試合目以降のチーム練習は行わない
- (4) ベンチは背中合わせにしないようにする。
- (5) ベンチの椅子は間隔をあけて5脚まで設置できる。コートチェンジの際には、各チームで椅子を持って移動する。
- (6) 2試合目以降はIF用紙が本部に提出されてから20分後にプロトコールを行う。試合間を十分に確保し器具や備品の消毒を行う。また、他チームとの接触を無くす。
- (7) 試合開始、終了後の選手同士、顧問同士、審判等への握手は行わない。
- (8) 選手の待機場所は、換気の良い屋外に各チーム毎、密にならないように設置する。
- (9) 他チームとの交流や接触は極力避ける。
- (10) 入場は、消毒などの作業が終わり、IF用紙が本部に提出されたあと審判が合図を出す。審判の合図は各チームとも1人で聞くようにして、他の選手は密にならないようにして待機場所で待つ。退場は、1チームずつ退場できるように審判で合図を出す。※入退場の際の密や接触を回避する。

### 2 消毒について

- (1) 会場出入り口に消毒用アルコール1本設置し入退場の際には手指消毒を行う。
- (2) ボールやジャッジフラッグなど不特定多数で使用する器具等は1試合ごとに消毒を行う。
- (3) ボールやボールかごなど会場に持ち込む用具等は、入館前に各チームで消毒を行う。
- (4) 試合終了後は利用したチームでベンチの消毒を行う。※各チームでアルコール消毒用のスプレーやペーパータオルなどを準備する。
- (5) 各チームの撮影者は、コートチェンジや試合終了後、撮影場所を離れる際は消毒を行う。  
※ 最終日の観戦者は、試合終了後、撮影場所を離れる際は消毒を行うこと。

### 3 クライシスマネジメントとして

- (1) 各チームで監督・コーチ・引率責任者の中から感染対策責任者を任命すること。
- (2) 各チームの感染対策責任者は、登録選手全員とマネージャー並びに、それ以外の生徒・保護者（6名まで）の健康チェックシート（保護者は健康申告書）を毎日提出させ、2週間の保管を行う。（万が一、感染者がでた場合には提出を求められることがある。）
- (3) 各チームの監督・コーチ・引率責任者・帯同審判・大会役員は、毎日、大会本部に健康申告書を監督会までに提出する。※感染対策責任者がチームごとにまとめて提出する。
- (4) 会場への入場は、原則として健康チェックシート・健康申告書を提出した者（管理職や審判も含む）のみとする。ただし、入館の際の検温で発熱（37.5℃以上）がある場合は、入館できない。
- (5) 会場ではマスクを着用する。但し、準備運動、競技中のマスク着用は無理に強要しない。  
※ベンチ・生徒役員はマスク着用。
- (6) 各チームの感染対策責任者は、登録選手全員とマネージャー並びに、それ以外の生徒の「大会参加 保護者同意書」を大会初日提出させ、2週間の保管を行う。（万が一、感染者がでた場合には提出を求められることがある。）

### 4 入場について

- (1) 屋内・屋外に関わらず、マスク着用を協力していただく。マスク着用を協力できない者は会場（敷地内）への入場は遠慮していただく。
- (2) チーム関係者（監督・コーチ・マネージャー・選手・引率教諭を含む）は、チーム名がハッキリとわかる ID を常時身に付けること。※ID の形式は自由
- (3) 撮影したものをホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードしないこと。（保護者・選手への周知を徹底する。）